

□主な内容

【EST 関連フォーラム・セミナー参加者募集中！】

以下のフォーラム・セミナーについて、現在、参加者を募集しています。皆様からのご参加を主催者一同お待ちしております。

●第 13 回地域バス交通活性化セミナー【2017/2/28】

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/13th_seminar.html

●電動小型低速車普及推進セミナー【2017/3/2】

http://www.ecomo.or.jp/environment/nev/1st_seminar.html

●第 14 回 地域バス交通活性化セミナー【2017/3/7】

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/14th_seminar.html

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 127 回)

●「松江市公共交通利用促進市民会議の取り組みについて」

【島根大学法文学部法経学科 准教授 飯野公央】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 127 回)

●「金沢市の交通によるまちづくり」

【石川県金沢市都市政策局交通政策部交通政策課 主査 今川 良太】

3. ニュース／トピック

●COOL CHOICE 連携事業について【環境省】

●地域公共交通に関する「第三者評価委員会」の初公開について【中部運輸局】

●「女性限定！バス運転体験会」の開催について【中部運輸局】

●平成 28 年度環境保全優良自動車関連事業場等局長表彰について【近畿運輸局】

●保育園での「交通環境教室」の開催について【神戸運輸監理部】

●「eco スタンプキャンペーン」の実施について【京都市交通局】

●平成 28 年度「エコモビ実践キャンペーン」の実施結果について【愛知県】

●「エコドライブコンテスト 2016」の表彰式について【佐賀県】

●スマート水素ステーション及び燃料電池自動車を活用した全国初の体験型水素学習事業の開始及びステーション完成・事業開始記念式典の開催について【京都市】

●コミュニティバス「のろっと」へのバスロケーションシステム導入について【大和市】

●国産初のハイブリッド連節バスの共同開発について【いすゞ自動車、日野自動車】

●ドイツ国内の 4 都市における「アクティブモビリティ」の支援について【ドイツ連邦環境省】

- 現在の輸送部門のCO2 緩和措置について【国際交通フォーラム】

4. イベント情報

- 第13回地域バス交通活性化セミナー【2017/2/28】
- ITS セミナー in いわき【2017/2/28】
- 電動小型低速車普及推進セミナー【2017/3/2】
- 第14回 地域バス交通活性化セミナー【2017/3/7】
- 地域公共交通セミナー in 四国【2017/3/15】
- 2016年度第11回自転車活用研究会【2017/3/17】
- エコライフ・フェア 2017【2017/6/3、6/4】

5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 127 回)

●「松江市公共交通利用促進市民会議の取り組みについて」

【島根大学法文学部法経学科 准教授 飯野公央】

松江市公共交通利用促進市民会議(以下市民会議と略す)が発足したのは平成 20 年です。人口減少やマイカー利用の増加により、バス利用者が平成元年の約 900 万人から 450 万人へ半減していた時期でした。松江市はこの危機的状況を打開すべく、市民 1 万人アンケートを実施し、松江市公共交通体系整備計画(1 次計画)を策定します。その際、公共交通は交通事業者・行政だけでなく市民・企業も協働して支える重要な社会インフラであるとの認識が共有され、それを実現するための協働組織として市民会議が誕生したのでした。

では具体的にどのような活動をしているのでしょうか。市民会議はサービス向上・利用促進部会と走行環境改善部会からなっています。前者は、アンケート結果にみられたバスに乗らない理由の一つである「バスに対する不安やわかりにくさ」の解消を目的に、①路線や時刻の見直しをはじめ、②学校や公民館、職場などへバスを持ち込み「バスに乗ってみませんか事業」を展開し、「お出かけマップ」「お試し定期券」など、利用のきっかけづくりを行っています。また、③市内の商店街等で割引が受けられる「とってもお得バス利用事業」など、バスを応援する仲間づくりにも取り組んでいます。バスの安全走行や定時性の確保を目的に作られた走行環境改善部会では、バスドライバーへの聞き取り調査をもとに、国・県・市の道路管理者や警察など部会メンバーが実地検分を行い、整備・改善に結び付けています。

ところで市民会議が最も力を入れていることの一つはモビリティ・マネジメント(MM)です。職場・学校・地域など様々な主体を対象に MM を実施してきましたが、特に注目されるのが 8 年間継続実施しているノーマイカーウィークです。市内 150 ほどの事業所からのべ 2,500 名を超える市民がマイカーからの転換を体験し、マイカーに依存しすぎる暮らし方を見直すきっかけとなっています。市民会議はこうした取り組みの成果を市民にフィードバックするほか、毎年の進捗管理、ほぼ 5 年ごとの市民アンケートを通じ、公共交通の利用促進を図っています。その結果、バスの利用者は平成 21 年度の 438 万人をボトムに緩やかな増加に転じ、平成 27 年度には 504 万人まで増加しました。また、市内の道路混雑も改善に向かい CO2 の削減にも役立っています。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 127 回)

●「金沢市の交通によるまちづくり」

【石川県金沢市都市政策局交通政策部交通政策課 主査 今川 良太】

金沢市は、近世城下町の成立以来、430 年余にわたり戦禍や大きな災害を免れたため、歴史的街路やまちなみは今も当時の姿を残し、本市の大きな魅力のひとつとなっています。

このような本市特有の貴重な財産を活かし、自動車に過度に依存しない歩行者と公共交通を優先するまちづくりの実現に向けて、都市の規模・個性にふさわしいきめ細やかな交通政策を行ってきました。

このうち、「新金沢交通戦略」(平成 19 年 3 月策定)では、特に北陸新幹線の金沢開業を見据え、ソフト施策を戦略の中核に位置づけました。

代表的な取組を以下にご紹介します。

まず、金沢の玄関口である金沢駅東口において、公共交通へのスムーズな案内を行うために、主要観光地別の「バス発車案内板」及び総合的な交通案内所「交通コンシェルジュ」を設置しました。また、中心市街地の主要バス停にも案内板を設置し、分かりやすい移動環境づくりに努めています。

そして、渋滞防止・環境向上の観点から、中心市街地へのマイカー流入を抑止するため、パーク・アンド・ライド施策を展開しており、当初は観光客向けが主体でしたが、近年は通勤者向けにも施策を広げ、平日・休日問わず、サービスを拡大しています。

一方、自転車の利用環境向上に向けた施策についても意欲的に取り組んでおり、自転車通行空間の整備に加え、連動して公共レンタサイクル「まちなり」の事業展開も行っています。

また、未来を担う世代への交通環境学習及び公共交通乗車体験等の意識啓発も積極的に行っているところです。

この間にも、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、まちなかの空洞化問題、新幹線開業による交流人口の急伸等、周辺環境は変化してきましたが、将来にわたる持続的な発展に資する交通まちづくりを実現するための行動計画として、平成 28 年3月には、新たに「第 2 次金沢交通戦略」を策定し、「新しい交通システム」を幹とする交通ネットワークの再構築や交通機能の連携強化等を進めています。

これからも、広く市民や事業者の理解と協力を得ながら、交通によるまちづくりのさらなる発展に向けて、より一層努力していきたいと考えています。

3. ニュース／トピック

●COOL CHOICE 連携事業について【環境省】

環境省では、「COOL CHOICE」のアクションひとつである、CO2 排出量の少ない移動を推進する「smart move」キャンペーンを展開しており、この度、国土交通省鉄道局や公益社団法人日本バス協会との COOL CHOICE 連携事業として、スマートムーブを呼び掛けるポスターやステッカーを作成したことを発表しました。

<http://www.env.go.jp/press/103574.html>

<http://www.env.go.jp/press/103573.html>

●地域公共交通に関する「第三者評価委員会」の初公開について【中部運輸局】

中部運輸局では、2月13日の月曜日から3日間、各地域が自らの公共交通施策を披露し、そのプレゼンに対し有識者が鋭く切り込む「第三者評価委員会」を開催し、全国の運輸局に先駆けた独自の取組として、プレス関係者・市民に初公開しました。

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/report/katudou20170213/katudou20170213.html>

●「女性限定！バス運転体験会」の開催について【中部運輸局】

中部運輸局では、普通、中型、大型(MT)免許を持つ女性を対象とし「女性限定！バス運転体験会」を開催しました。15名の参加があり、大型バスの運転体験や施設・点呼見学、業務説明会、座談会が行われました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/report/katudou20170218/katudou20170218.html>

●平成28年度環境保全優良自動車関連事業場等局長表彰について【近畿運輸局】

近畿運輸局では、循環型社会の促進に向けて自動車やタイヤ等を販売・整備する事業者のうち、環境対策に積極的な取り組みを行っている事業場に対して、近畿運輸局長の表彰を行っており、今年度は、26事業場に対し運輸局長表彰を行うことを発表しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/press/2017-0203-1122-25.html>

●保育園での「交通環境教室」の開催について【神戸運輸監理部】

神戸運輸監理部では、次世代の環境問題を担う子供達に、公共交通が人や社会、環境にやさしい乗り物であることを理解してもらい、公共交通の乗車体験や営業所の見学を通じて公共交通に対する関心を高め、利用促進につなげることを目的として、神戸市内で初めて、保育園児を対象に「交通環境教室」を開催することを発表しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kobe/html/1487830729.html>

●「eco スタンプキャンペーン」の実施について【京都市交通局】

京都市交通局では、公共交通機関の利用促進に向けて、市バス・地下鉄を利用のうえ、高島屋京都店及び京都マルイで買い物をすると、市バス又は地下鉄で利用できる乗車券がもらえる「eco スタンプキャンペーン」を実施することを発表しました。キャンペーン期間は平成 29 年 2 月 10 日(金)～平成 30 年 1 月 31 日(水)です。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/page/0000214608.html>

●平成 28 年度「エコモビ実践キャンペーン」の実施結果について【愛知県】

愛知県では、クルマと公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分ける「エコ モビリティライフ」(エコモビ)の推進に取り組んでおり、その一環として、県内の事業所が期間中、エコ通勤を中心とした「エコモビ」に積極的に取り組む「エコモビ実践キャンペーン」を平成 26 年度から実施しています。今年度は、昨年度を上回る 3,000 を超える多様な事業所がキャンペーンに参加し、11 月 17 日(木)から 12 月 16 日(金)までの期間中、「エコモビ」に取り組みました。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/290216ecomobi.html>

●「エコドライブコンテスト 2016」の表彰式について【佐賀県】

佐賀県では、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を削減し、地球温暖化対策を進めるため、環境に配慮した自動車運転(エコドライブ)への取組を普及させることを目的とした「エコドライブコンテスト 2016」を開催しました。平成 28 年 6 月 15 日から平成 28 年 12 月 21 日までの期間のうち 1 か月間、県内 22 の事業所がエコドライブ活動を実践し、このたび 5 事業所の入賞を決定し表彰式が開催されました。

<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00353260/index.html>

●スマート水素ステーション及び燃料電池自動車を活用した全国初の体験型水素学習事業の開始及びステーション完成・事業開始記念式典の開催について【京都市】

京都市は、株式会社ホンダカーズ京都と連携し、水素製造の仕組みや燃料電池自動車の原理等を学び、製造した水素燃料で燃料電池自動車に乗車する、水素学習と燃料電池自動車体験乗車とを組み合わせた全国初の体験型水素学習事業を平成 29 年 3 月 2 日(木)より開始することを発表しました。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000214188.html>

●コミュニティバス「のろっと」へのバスロケーションシステム導入について【大和市】

大和市は、市内を走るコミュニティバス「のろっと」の北部・南部ルートにバスロケーションシステムが導入されることを発表しました。システムが導入されるのは平成 29 年 3 月 1 日(水)からです。

<http://www.city.yamato.lg.jp/web/t-soumu/basuloca130401.html>

●国産初のハイブリッド連節バスの共同開発について【いすゞ自動車、日野自動車】

いすゞ自動車株式会社と日野自動車株式会社は、国産初のハイブリッド連節バスを共同で、2019年の市場投入を目指して開発することを合意したことを発表しました。今回共同で開発する連節バスは、環境負荷にも配慮してハイブリッドシステムが採用されます。

http://www.isuzu.co.jp/press/2017/2_13prs.html

●ドイツ国内の4都市における「アクティブモビリティ」の支援について【ドイツ連邦環境省】

ドイツ連邦環境省は、ドイツ国内の4都市を「アクティブモビリティ」の実証地区として支援することを公表しました。徒歩交通と自転車交通の促進方法や道路空間を魅力的な住居空間として取り戻すための方法について、2019年半ばまで実証プロジェクトが実施されます。

<http://www.bmub.bund.de/presse/pressemitteilungen/pm/artikel/hendricks-staerkt-in-vier-deutschen-grossstaedten-alternativen-zum-auto/>

●現在の輸送部門のCO2緩和措置について【国際交通フォーラム】

国際交通フォーラムは、世界の輸送活動からのCO2排出削減に関する現在および近い将来の政策は、国際社会の気候目標を達成するには不十分だとし、輸送の脱炭素化には技術革新の加速と果敢な政策選択が必要だと発表しました。

<http://www.itf-oecd.org/node/20868>

4. イベント情報

● 第 13 回地域バス交通活性化セミナー

～ひと・まち・自然にやさしい持続可能なバス交通を目指して～

日時:2017年2月28日(火)13:30～16:50

場所:高梁市図書館4階「多目的室」

主催:中国運輸局、高梁市、エコモ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/13th_seminar.html

● ITS セミナー in いわき

日時:2017年2月28日(火)13:00～17:45

場所:東日本国際大学1号館

主催:東京大学生産技術研究所次世代モビリティ研究センター

<http://www.its.iis.u-tokyo.ac.jp/seminar/201702-iwaki.pdf>

● 電動小型低速車普及推進セミナー

日時:2017年3月2日(木)13:30～16:50

場所:アルカディア市ヶ谷5階「大雪」

主催:公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/nev/1st_seminar.html

● 第 14 回 地域バス交通活性化セミナー

～ひと・まち・自然にやさしい持続可能なバス交通を目指して～

日時:2017年3月7日(火)13:00～17:00

場所:兵庫県民会館11階「パルテホール」

主催:神戸市、国土交通省近畿運輸局、エコモ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/14th_seminar.html

● 地域公共交通セミナー in 四国

日時:2017年3月15日(水)13:30～17:00

場所:高松商工会議所2階「大ホール」

主催:国土交通省四国運輸局

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2016/2017-0217-1416-4.html>

●2016 年度第 11 回自転車活用研究会

日時:2017 年 3 月 17 日(金)18:30~20:30

場所:ライフ・クリエーション・スペース OVE 南青山

主催:自転車活用推進研究会

<http://cyclists.jp/seminar/20170317.html>

●エコライフ・フェア 2017

日時:(1 日目)2017 年 6 月 3 日(土)11:00~17:00

(2 日目)2017 年 6 月 4 日(日)10:00~17:00

場所:東京都渋谷区都立代々木公園

主催:環境省

<http://www.env.go.jp/press/103659.html>

5. その他

- EST パートナースHIP会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、37団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html
- 記事募集中！
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当: 熊井)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>